

平成20年度 子どもたちの確かな学力育成のための検討委員会(第4回) 会議録

1 日 時 平成21年1月19日(月) 午後3時～午後5時

2 場 所 生駒市役所401・402会議室

3 出席者

(委員)

委員長 大原 裕	副委員長 大島 眞規	委員 西村 徹
委員 井上 宝	委員 辻野 トシ子	委員 山本 公一
委員 朽木 丈二	委員 佐々木 栄	委員 久保 とき代
委員 藤村 義邦		

(事務局)

教育長 早川 英雄	
教育総務部長 大津輪 幹夫	教育総務課長 峯島 妙
教育指導課長 西井 久之	教育総務課課長補佐 辻中 伸弘
教育指導課課長補佐 井上 廣	教育総務課 楠下 崇子

4 欠席委員

なし

5 議事内容(要旨)

(1) 第3回検討委員会の会議録の承認について

(委員長) ただ今から「第4回子どもたちの確かな学力育成のための検討委員会」を開催します。

まず、前回会議録の承認を議題といたしますが、ご意見等ありましたら、この場で調整したいと思います。

(調 整)

(委員長) それでは、調整後の会議録を後日、委員長の私が最終確認するというところで、ご承認いただけますか。

(異議なし)

(2) 第3次報告(案)について

(委員長) 続きまして、第3次報告(案)について、議題といたします。事前配布されておりますので、ご意見等ありましたら、この場で調整させていただきます。

(調 整)

(委員長) それでは、第3次報告についても、事務局で整理してもらい、後日、委員長の私が最終確認するというところで、ご承認いただけますか。

(異議なし)

(委員長) ありがとうございます。事務局から何かございますか。

(事務局) 第3次報告をまとめていただき、ありがとうございます。これから、予算を確保していくわけですが、その前に実施計画を策定する必要があり、この検討委員会と並行して、一部、進めてきたものがございます。実施計画については、既にホームページで公表しておりますので、ご了承いただきますようお願いいたします。

(3) その他

(委員長) 続きまして、委員の皆様から自由にご意見、ご提案等をお伺いします。

(委 員) 3つの提案があります。

まず1つ目は、「小学校の教科担任制」です。先生には、得意・不得意が

あると思いますので、5・6年生からは、教科担任制にして、得意な教科を得意な先生が教えるようにし、多くの先生が子どもに接するようにしてはどうかというものです。教師も得意なものを教えるのは楽しいと思いますし、子どもにとっても楽しい授業になるとと思います。

音楽や図工は専科になっているところが多いと思いますが、国語、算数、理科、社会、体育、家庭科も教科担任制にすることで8人の先生が子どもたちと保護者に対応することになります。

今でも、特定の教科を交換し、授業はされていると思いますが、より専門的に、また、より積極的にという思いで提案します。

(委員長) ただ今ご提案いただきましたが、ご意見、ご質問等あればお願いいたします。

(委員) 教科によっては専科になっていたり、学級を交換しながらの授業も行ってありますが、小規模校では、教職員の配置数に余裕がなく、予定外の出来事も発生することがあるので、時間数を合わせるのは難しいと思います。

(委員長) 高学年の児童に多くの教師が指導にあたることは、いいことだと思います。

(委員) 教科担任制にすれば、一度授業の準備をすれば受け持ちのクラス数だけ授業を行うので、教師の技術の向上につながると思います。

(委員長) では、2つ目の提案についてお願いします。

(委員) 2つ目は「2期制」の導入です。4月から9月の前期と10月から3月の後期に分けて、3ヶ月ごとに保護者と懇談会等を行う機会を作り、学校と家庭の連携を強めるとともに、現在の夏休みに当たる時期に、2週間程度、午前中に授業を行うことで、子どもたちの生活習慣の向上と学習機会を保障し、学力の向上を願うものです。

基本的な学力が定着していないと、授業はどんどん分からなくなりますし、わからないまま授業を受けることは、子どもたちにとっても苦痛です。中学

校では、クラブ活動もあり難しいと思いますが、小学校で漢字や計算など基本的なことだけでいいので実施してもらえれば、その後の学習につながります。子どもたちのために、ぜひお願いしたいと思います。

(委員) 中学校では、夏休みに学習会を開いている学校もあります。一人の教師でできることではないので、学年でチームを組むなど、学校全体として考えていく必要があると思います。

(委員) ご提案いただいた気持ちはよくわかります。以前と違い、終業後に子どもを残すことは難しくなっていますが、つまずいたまま放っておくと、どんどん授業が分からなくなりますので、現場でも何らかの努力をしていかねばという思いはあります。

(委員) 勉強を教えるから休日に登校するようと言っても、一人では来づらいと思います。個別に声をかけるより、仲間が一緒にいて、皆で勉強できるような体制作りをお願いしたいと思います。

次に3つ目の提案ですが、「小学校と中学校の教員交流」です。

統計上、小学校から中学校に進学すると、不登校になる確率が高いといわれています。教員の交流や、出前交流授業等により小中学校の連携を深め、一貫した教育の創造につなげることで、小学校から中学校への進学をよりスムーズにできるのではないのでしょうか。

また、教師も異なる学校で授業を行うことにより、技術が向上すると思いますし、教師だけでなく、子ども同士や地域の中での交流を行うことにより、子どもたちにとって、いろいろな意味で広がりができると思います。

(事務局) 事務局からも毎年学校へは声をかけ、体験入学や幼小連携事業、また理科の投げこみ教材(教科書外の教材)等を行っており、まだまだ数が少ないかもしれませんが、増えてきています。また、体験入学は、授業を一緒に受けたり、クラブに参加するなど、メニューも増えていきます。

(委員) 中学校に勤務していますが、小学校で教えてみたいという思いは持っています。中学校の教師が小学校で教えようと思うと、もっと噛み砕いて説明しなければならないと思いますし、小学校でどこまで学習できたかを知っていれば、中学校の授業の準備も変わってきます。教師にとっても、いい勉強になると思います。

(委員) 現場でも環境の変化が激しく、いろいろ忙しいとは思いますが、教育に携わる仕事を選んだ以上、情熱を持って子どもたちに接してもらいたいし、子どもたちのことを第一に考えて、良いと思えるものについては積極的に取り組んでいただきたいと思います。

(委員長) 他の委員さんからも、ご提案等ありましたらお願いします。

(委員) 私の子どもが学校へ通っていたころと比べると、保護者と教師の関係が、十分ではないというか、理解し合えていないように感じられます。学力についても、学ぶ力や活用力を重視するのか、成績ととらえるのか、教師と保護者の間で認識の違いがあるように思います。アンケートの実施や話し合いの機会を増やし、まず共通認識を持つことが必要だと感じます。

次に、幼・保・小・中の連携を考えたのですが、具体的には、幼児教育の充実と複式な学級の勧めです。

幼児教育の充実については、芸術教育や身体育成の面で、専門の指導者が必要だと思います。身体育成は、基本的には遊びの中で培っていけばいいと思っていますが、10年ぐらい前と比べると、最近の子どもたちは動きが違って、発育や発達について、ある程度知識を持っている人が指導する必要があると感じます。

複式な学級については、異なる学年の子どもたちが、縦割り集団の中で遊んだり学習したりする中で、学んだり発見したりすることがあると考え提案します。学力についても、そのときは分からなかったことが、小さい子に教

えたり、大きくなってから改めて考えたりすると理解できることがあり、学力不足を高学年で克服するという考え方もあると思います。

最後に、教育も地方分権の時代になってくると思いますので、参考になるような先進地等あれば、積極的に視察、研修等の機会を設けていただきたいと思います。

(委員長) 時間も押してまいりましたので、質問がなければ、ここまでとさせていただきます。

本日、お二人の方からいただいたご意見、ご提案は、事務局でまとめたいただき、今後の施策を考える上での課題や参考としていただければと思います。

(事務局) 委員の皆様には、長期にわたり、また毎回長時間にわたり、ご審議いただきありがとうございました。

延べ4回の会議の中で、第3次報告をまとめることができ、また本日は、自由なテーマで貴重なご意見等を多数お伺いすることができました。

第3次報告については、最終調整をいたしまして委員長にご確認いただいた後、2月の教育委員会定例会で委員長からご報告いただきたいと考えております。

また、これから予算査定が行われますので、施策の具現化に向け、第3次報告を後ろ盾にして、予算の確保に臨みたいと思います。

(事務局) 今回の会議録につきましては、後日皆様に送付いたしますので、ご意見等ありましたらご連絡ください。修正のご連絡がありましたら、委員長と協議したうえで会議録の再調整を行ないまして、ホームページへ掲載したいと考えております。

(委員長) ただいま、本日の会議録について事務局から提案がありました。後日会議録が送付されますので、修正等があれば事務局へご連絡いただき、最終調整

は委員長の私に一任していただくということで、よろしいでしょうか。

(了承)

(事務局) それでは、この後、教育長へ答申をお渡し願いたいと思います。

(答申)

(委員長) 最後に、教育長からご挨拶をいただきます。

(教育長挨拶)

(委員長) ありがとうございました。これにて閉会といたします。